

# 平久だより

No515 平成22年12月1日  
 発行 江東区立平久小学校  
 TEL (3644-0374) FAX(6690-4012)  
 E-mail:heikyus-st@mx.koto.ed.jp  
 HP:http://www.koto.ed.jp/heikyusyo

## 音と心を耕す

副校長 中村 光子

⊕ 大阪フィルの指揮者 大植英次さんは、ボーン・ウィリアムズの「タリスの主題による幻想曲」から連想した情景を「静かな浜辺に霧が立ち込め、遠くからはかすかな鳥の鳴き声が・・・」と、楽団員に語りかける。そして、弦楽器奏者に弓の運びを指示し、出だし部分の情景を再び言葉で繰り返すと、ゴツゴツしていた低音の輪郭がすっと薄くなり、音楽はたちまちふくよかなものになる。指揮者は自分で音を出さない為、こうした作業を積み重ね音楽を作り上げていく必要がある。リーダーとして、音楽の明確なニュアンスを言葉で示し、オーケストラの想像力を引き出していくのだ。

大植さんは学生時代、齋藤秀雄氏の下で基礎をたたき込まれた。「棒を振る」テクニックが基礎だが、弦や木管・金管・打楽器など全ての楽器のパートが記されたスコアを「読む力」も重要だと指導された。それはスコアから作曲家の意図するものを引き出し、オーケストラを通して聴衆に伝えるためだ。加えて要求されるのが、100人を越える楽団員を引っ張る統率力だ。大植さんは100人のオーケストラを一人で操ろうとするのではなく、楽団員一人一人と100通りの関係を結ぶことを心掛けているという。芸術面では妥協せず厳しく注文するけれど、楽団員を尊重するから和やかな人間関係が築ける。柔らかなコミュニケーション能力が演奏のカギを握るといふ。大植さんが何よりも大切に思っているのは、音楽をがむしゃらに愛する心で、情熱に欠けたテクニックだけの指揮者ほどつまらないものはないという。

私はこの話を聞いた時、本校の音楽会のことを考えました。日常の音楽の授業は勿論ですが、音楽会を通して子どもたちに身に付けさせたいものがこの文章の中に全て含まれているからです。合奏も合唱もそれぞれのパートの基礎的な技術を身に付けた上で、音を作り出していくことの楽しさを感じ、音楽を子ども自身が楽しめるようになる。更に、一人で歌ったり演奏したりすることも素晴らしいが、全員で歌ったり、演奏したりすることも素晴らしいということが発達段階に応じて感じてもらいたいと考えていたからです。そして、指揮者同様、私たちも子ども一人一人と対話し、関係を更に深めるための努力を怠ってはいけなことを再認識いたしました。音楽会に向けての練習や音楽会当日は、子どもたちの力を今まで以上に引き出し、音と心を耕していく所存です。12月10日(児童鑑賞日)11日(来賓・保護者鑑賞日)には、このような目標に近付けていると信じています。多くの皆様のご来校をお願いしますとともに、音楽会までの努力と、音楽を楽しんでいる子どもたちに大きな拍手をお願い致します。

⊕ 11月は、ふれあい月間でした。ふれあい月間は、校内における問題行動への取組状況を点検し、問題行動の早期発見・早期対応・未然防止等につなげることを目的としたものです。本校では、人権についての標語作りや「思いやり」「友情」等をテーマにした授業等を実施いたしました。保護者の皆様も、これはと思われることがありましたら、担任・学校にご連絡ください。保護者と学校で話し合い、未然に防ぐと同時に「人間として絶対に許されない行為」について徹底した指導を図りたいと思います。

## < 音楽会に向けて >

音楽 高田 敏子

今年は、3年に1度の音楽会の年です。日常の音楽の成果を発表します。この機会に“みんなが心を合わせて音楽会を創りだす喜び”が味わえればいいと思います。今回は、「世界にひびけ みんなにとどけ 平久のハーモニー」というテーマになりました。世界のどんな音楽が響くでしょうか。

ご家庭でもおさんから歌や合奏のことなどをお聞きくださり、励ましの言葉をかけてあげてください。

## < 冬休みにに向けて >

生活指導部 中島 光政

夏の暑さがいつのことかと思えるほど木々は色づき、秋を飛び越え冬を迎え、今年もあと一月になりました。ご家庭では年末年始はとも忙しい時期でもあります。ぜひ、家族の一員としてお手伝いをさせるとともに、正しい挨拶の仕方を身につけさせたいものです。また、今年の反省の上にたち、新年の目標を決めることが大切です。

冬休みを楽しく安全に過ごすには、次のことを守りましょう。

こう・・・交通事故にあわないために交通ルールをき

⊗ ちんと守ります

ゆう・・・ゆうかいにあわないために、1人では遊ば

⊗ ないようにします

きん・・・遊びに行くときには、お金やゲーム機など

⊗ をもたずに遊びます

か・・・火遊びをしないようにします

⊗

江東区 交通安全キャンペーン

12月1日(水)～12月7日(火)は江東区の交通安全キャンペーン週間です。

メインテーマは、「やさしさが 走るこの街 この道路」です。暗くなるのが早くなったので、自転車の乗り方等に注意したり、交通ルールを再確認したりして、交通事故のない町にしていきたいと思います。

1月11日(火)より学校が始まります。登校班で登校します。給食もあります。

## 12月の行事予定

日	曜	朝	学校行事
1	水	集会	安全指導 午前授業
2	木	音読	委員会活動
3	金	読書	生活科見学(2年)
4	土		
5	日		
6	月	朝会	
7	火	読書	
8	水	集会	音楽会予行:午前授業
9	木	音読	前日準備
10	金	読書	音楽会(児童鑑賞日) 午前授業:6年準備5校時
11	土	読書	音楽会(保護者鑑賞日) 午前授業:5年片付5校時
12	日		
13	月		指替休業日
14	火	朝会	個人面談午前授業
15	水	読書	午前授業
16	木	集会	学力テスト 午前授業
17	金	音読	避難訓練 午前授業
18	土		わんぱくフェスティバル(9:00～12:00)
19	日		
20	月	朝会	個人面談終了↓午前授業
21	火	読書	演劇教室(5・6校時)
22	水	読書	
23	木		天皇誕生日
24	金	朝会	年内最終登校日 給食終了
25	土		
26	日		冬季休業(給)
27	月		
28	火		
29	水		
30	木		
31	金		↓大晦日(午減)

## 家庭読書カード：お家の方より

1年・・・☆普段なかなか本を読む機会がなく、学童から帰ってくると、お風呂、ごはんTVが優先になってしまっているのですが、「1冊でも2冊でもいいから読もう！」と決め、母が読み聞かせをしました。家族で優しい気持ちになれる穏やかな時間が過ぎたように思います。

☆最近、本を読んであげることができませんでしたが、読書期間に一度だけですが、読んであげたら、喜んでくれたので、これからなるべく時間をつくって読んであげたいと思いました。

また、たくさんの本を読んでいろいろ感じてもらいたいと思いました

2年・・・☆最近では、すっかり自分で本を選んで自分で読むようになりましたが、時には読み聞かせもい

いものですね。小さい頃を思い出しました。

☆色々なジャンルの本を読むようになったなあと成長を感じました。これからも続けたいと思います。

3年・・・☆いまだに「本 読んでえ」と来る。物語の世界に入りこみ、クックッと笑う姿を見ながら、こんな時間が永遠に続いたらなあと思いました。もう時間切れ間近だ。

☆弟が借りてきた本を、夜寝る前に娘と私で、一章ごとに読んであげました。弟もとても喜び、私も娘の音読の様子がわかり、とても有意義でした。

4年・・・☆テレビを消して静かな空間での読書は集中しやすく、内容もイメージがふくらみとても有意義な時間でした。

☆わが家では、仕事の関係で、家族がそろうのは、一週間に一度だけです。その1日、本当に短い時間ですが、とても楽しく部屋のあちこちで、6人の家族が共通の時間がもてました。とても幸せでした。

5年・・・☆親子で読書する時間をもつと家族でゆっくりとした時間が過ごせました。これからも、読書の日をつくりたいです。

☆本を読むときと読まないときのムラがあったので、家庭読書は、いい機会になりました。これからは、家族で読書をする機会をもちたいと思います。

6年・・・☆『パセリの伝説』にかなりはまっていて、暇さえあれば読んでいるような感じでした。本の楽しさにめざめたようで、うれしいです。

☆自ら読書をする事がほとんどないので、とても良い機会でした。人物像や風景を色々想像しながら読めたようです。

仲よし・・・☆兄と一緒に本を選んで、夜の読書を楽しみにしていました。みんなで主人公の気持ちを話しました。

☆去年より、自分で読む量が増え、初めての文章も上手に発音できることが多くなってきたのでおどろきました。成長の程度を確認できる、よい機会でした。

ほとんどの方から ご感想をいただきました。

ご協力ありがとうございました。

今後ともご協力よろしく願いいたします。